

# 3 章 学習のまとめ

## 積の表し方

▶p.78

- ① 文字の混じった乗法では、乗法の記号×をはぶく。  
 $50 \times x = 50x$        $x \times (-6) = -6x$
- ② 文字と数の積では、数を文字の前に書く。

## 累乗の表し方

▶p.79

同じ文字の積は、累乗の指数を使って表す。

$$x \times x = x^2$$

## 商の表し方

▶p.80

除法の記号÷は使わないで、分数の形で書く。

$$x \div 10 = \frac{x}{10}$$

## 式の値

▶p.83

$x = -2$  のとき、 $-4x + 5$  の式の値は、 $x$  に  $-2$  を代入して計算した結果だから、

$$-4 \times (-2) + 5 = 13$$

## 項と係数

▶p.88

式  $4x - 3$  の項は  $4x$ 、 $-3$  である。

文字をふくむ項  $4x$  の  $x$  の係数は  $4$  である。

$50x$  や  $4x - 3$  のように、1 次の項だけや

1 次の項と数の項の和で表された式を 1 次式という。

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

## 1 次式の加法、減法

▶p.89

$$\begin{aligned} 5x - 3x &= (5 - 3)x \\ &= 2x \\ (6x + 5) + (2x - 7) &= 6x + 5 + 2x - 7 \\ &= 8x - 2 \\ (6x + 5) - (2x - 7) &= 6x + 5 - 2x + 7 \\ &= 4x + 12 \end{aligned}$$

## 1 次式と数の乗法、除法

▶p.92

$$\begin{aligned} (-3x) \times (-5) &= (-3) \times (-5) \times x \\ &= 15x \\ -2(x - 4) &= -2 \times x - 2 \times (-4) \\ &= -2x + 8 \\ 10x \div 4 &= \frac{10x}{4} \\ &= \frac{5x}{2} \end{aligned} \quad \begin{aligned} 10x \div 4 &= 10x \times \frac{1}{4} \\ &= \frac{5}{2}x \end{aligned}$$

## 数量の関係を表す式

▶p.100

等号を使って、数量の等しい関係を表した式を 等式 という。

また、不等号を使って、数量の大小関係を表した式を 不等式 という。

$a$  円の本の 1 割引きは  $b$  円だった。

$$\Rightarrow 0.9a = b$$

$a$  円の本の 1 割引きは  $b$  円以下だった。

$$\Rightarrow 0.9a \leq b$$

3 章で見つけた ！ を  
ふり返って、学習感想を  
まとめてみましょう。

- わかったことや  
よかったこと
- 大切だと感じたことや  
気づいたこと
- さらに学習して  
みたいこと など

文字を使うと、すべての場合を  
まとめて 1 つの式で表すこと  
ができることがわかった。

文字を使って、いろいろな数量  
を簡潔に表すことができる  
ようになった。

文字を使った式も、数と同じ  
ように、分配法則などを  
使うと、計算できることが  
わかった。

2 種類や 3 種類の文字を  
ふくむ計算もやってみよう。

